

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月27日		記入者	連絡先	5153
部 名	学校教育部	課 名	青少年相談センター	課長名	小西 保勝
事務事業名	青少年相談員事業				
予算上の事務事業名	青少年相談員経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14230		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第2節 青少年の健全育成				事業開始年度
施 策 名	第3施策 青少年相談と非行防止活動の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市青少年相談員及び相模原市青少年相談センター相談員に関する規定 相模原市青少年相談員に関する要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	窓口・相談 ▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）</p> <p>地域社会における青少年の健全な育成を図るとともに、青少年の非行化を防止するため、青少年相談員を配置し指導・啓発を行う。</p> <p>(2) 対象（誰、何）</p> <p>青少年</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>① 通年 ② 役員会 5回 理事会 4回 研修会 13回 啓発活動 5回 ③ 1,180千円 ④ 参加者数 2,025名</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	他自治体も同様な目的で実施している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	1,230	1,178	1,180	1,521	1,521
一般財源	1,230	1,178	1,180	1,521	1,521
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	7,209	7,263	7,245	7,245	7,245
事業コスト合計	8,439	8,441	8,425	8,766	8,766
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	青少年相談員経費			対象名称と単位	参加者数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	8,439	8,441	8,425	8,766	8,766
対象数	1,835	2,793	2,049	2,500	2,600
単位あたり経費(円)	4,599	3,022	4,112	3,506	3,372
前年度比		0.66	1.36	0.85	0.96

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	参加者数	指標式と指標の説明	年間参加者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	1,835.0	2,793.0	2,049.0		
目標	0.0	0.0	0.0	2,500.0	2,600.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者数	指標式と指標の説明	参加者数/経費		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	1835.0	2793.0	2049.0		
目標	0.0	0.0	0.0	2500.0	2600.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		地域社会における青少年の健全な育成を図るとともに、青少年の非行化を防止するため、青少年相談員を配置し指導・啓発に向けて継続してきたが、昨今の地域の教育力の低下の防止のためにも本事業は拡充していくことが求められている。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年を取り巻く大人集団からの声かけや見守りによる健全育成へ向けた対応 ・担当地域小・中学校との連携の強化 			<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の保護者の意識改革の手立て ・青少年相談員と学校・地域の連携のあり方 		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		効果的な事業の実施を検討すること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			